

5-8

今日からできる職場改革！！

やりがいの花を笑って咲かせよう。

やりがい

人材育成

平成 21 年度 生活相談員スキルアップ研修会 B グループ

発表者：生活相談員 小田 篤

共同研究者：早川太朗 堀尾幸子 保坂由美子

所在地：東京都練馬区関町北5-7-22

共同研究者：柴田聖子 川辺成人 福井恭高

TEL：03-5991-9917

E-mail：dai2dainikouyouen@mx5.ttch.ne.jp

FAX：03-5991-9918

URL：<http://www.timelyhit.ne.jp/senyukai/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

「当グループは東社協の高齢者福祉部会、生活相談員研修委員会が変化に対応していく人材育成を目的とする「生活相談員スキルアップ研修会」で高い専門性や技術を身につけるために研修を行っている生活相談員 7 名のグループです。」

〈取り組んだ課題〉

- 介護福祉施設における「やりがい」や「職場の雰囲気」の重要性を認識し、生活相談員としてどのようにしたら施設内でやりがい向上に向けた取り組みが出来るかを検討した。
- 「やりがい」に焦点をあて、誰にでも出来る人材育成の構築を目標として、検討と実践を行った。

〈具体的な取り組み〉

- やりがいやモチベーション向上に向けた取り組みに関する調査
- 誰にでも実施できる方法の検討
- 職員のプラスの行動から学ぶという視点で、人材育成方法の検討
- 全職員のやりがいに関する意識調査の実施
- スキルアップ研修Bグループにより全職員を対象とした「ポジティブカード」の発案・実施
 - ・誰にでも手軽に実施できる方法を検討
 - ・カードの様式を作成
 - ・カードの収集方法・取りまとめ・職員のフィードバック方法の検討
 - ・カード集計後のディスカッションを提案
 - ・ディスカッション内容の周知方法の検討
- ポジティブカード実施後の、生活相談員による全職員の意識調査の実施

〈活動の成果と評価〉

- 生活相談員として職員のやりがいの向上に向けた取り組みについて検討・考察できた。
- 他の職員の仕事内容に目を向けられるようになった
- 他職種の仕事内容が把握できた。
- 職員同士でお互いを承認し合う意識が出てきた。
- 職場での雰囲気が以前より良くなったという意見が職員から聞かれた。
- ディスカッションの方法が実施施設により異なった
- 利用者へ標準化したサービスを提供できる部分が増えた。
- 各部署間との連絡・調整からコミュニケーションが取れるようになりスムーズになった。
- 生活相談員が定期的にディスカッションの意見の把握をすることで 職員の意識変化の評価ができた。

〈今後の課題〉

- 「ポジティブカード」の継続的使用方法の検討
- ディスカッションをより簡素化して、スムーズに継続できる方法の検討

〈参考資料など〉

【メモ欄】